

もしも

で

考える地下鉄のこと



このパンフレットに関する
お問い合わせ

札幌市交通局事業管理部総務課

〒004-8555 札幌市厚別区大谷地東2丁目4番1号

TEL(011)896-2708

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/st/>

印刷:札幌大同印刷株式会社

発行:2013年3月



さっぽろ市
02-N03-12-1786
24-2-288



SAPPORO



地下鉄のことを、しっかり
考えてみましょう

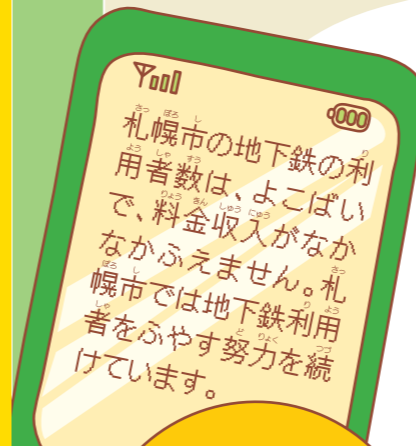


地下鉄は 札幌市民の 大切な足

190万という人口を抱える北の都市、札幌。
1年の3分の1ほどは雪におおわれるこの地で、
地下鉄は、街とともに歴史を歩んできました。

札幌の地下鉄の誕生は、1971年の12月。
札幌冬季オリンピックに向けて、市民の強い願いと先人たちの努力と
多くの人々の協力により、全国4番目の地下鉄として誕生しました。
世界最先端の技術も取り入れながら、改良を加え
市民の足として走ってきた地下鉄。
現在でも1日約57万人が利用しています。

もしも、札幌の地下鉄がなくなったら、
いつもの生活はどう変わってしまうのでしょうか？
少しだけ想像してみませんか。
わたしたちの暮らしと、地下鉄のこと。



地下鉄利用者が
ふえてないんだね

もしも

札幌の地下鉄が なくなったら

もしも利用者が
どんどんへっていきと
地下鉄がなくなる
かもしれないよ！

なくなったら
どうなるの？

急いでいる時や
天気の悪い日が
心配だな

環境や
エネルギー問題にも
関係がありそうね

車を運転
できない人は
不便になって
しまうかも

それは大変！

一つ一つ真剣に
想像してみよう！

おちやっ！

もしも地下鉄がなくなったら
シーン①

【行きたいところに、正確に、安全に】

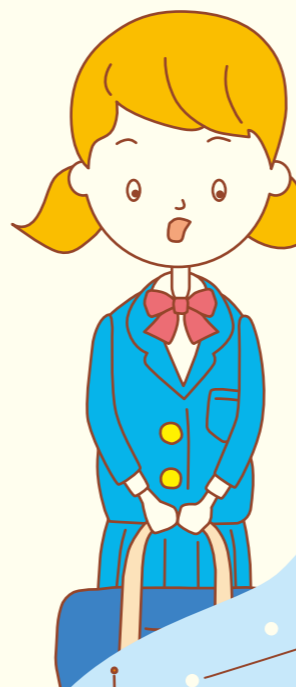
忙しい毎日、目的地には予定通りの時間に着きたいもの。

地下鉄は道路の状況に左右されることなく、時間通り、安全に目的地まで運んでくれる乗り物です。



あわてると危険もいっぱいね

楽しみにしていた野球にまにあわない



試験の朝がこんな天気だったら大変

最近多いわね



【天候に左右されずに目的地へ】

地上の乗り物は、大雨や強風など天候に左右されやすく、さらに冬場は大雪の影響もあります。地下鉄なら雨・風・雪に左右されることなく、確実に目的地に着くことができます。

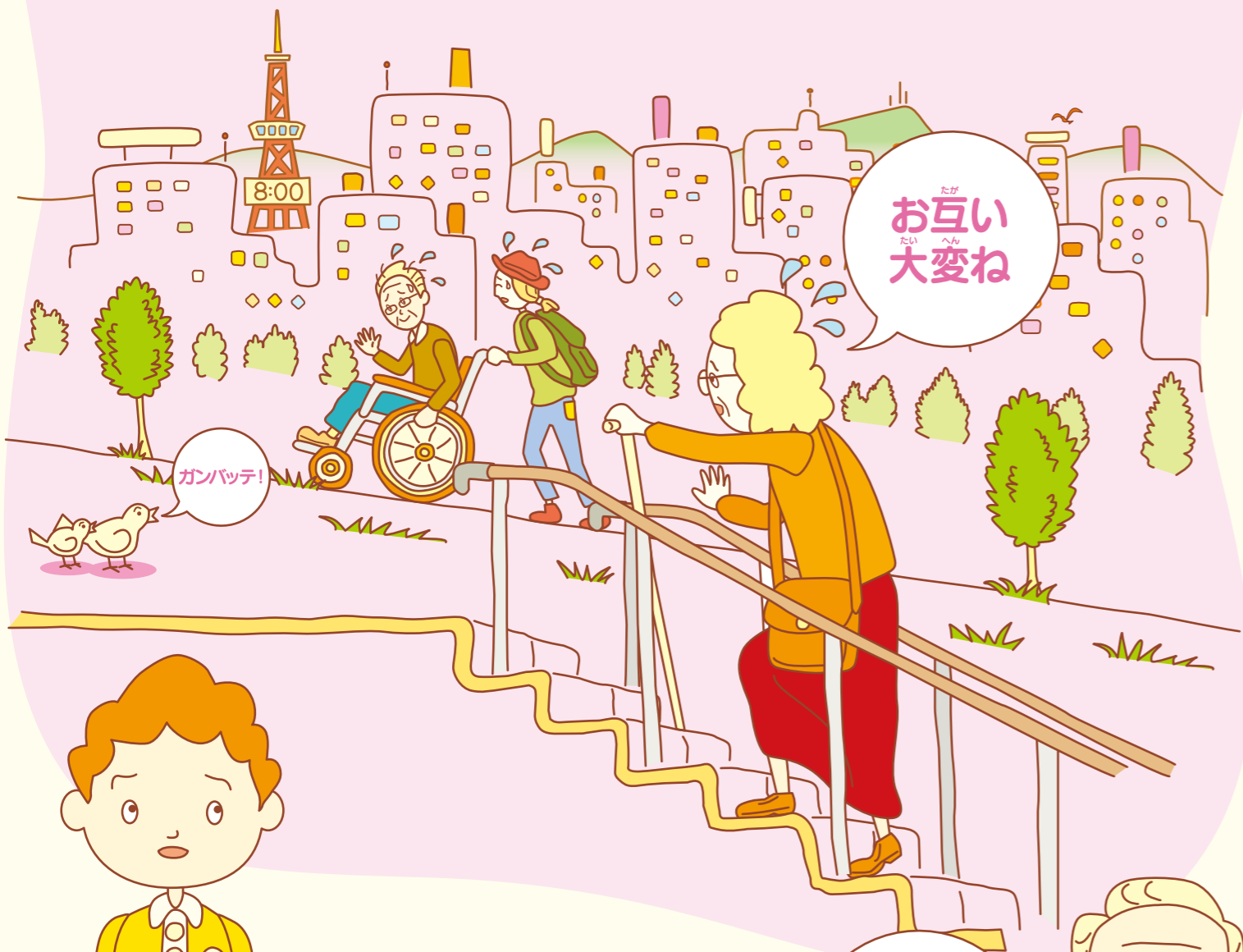
大雪のときはどうしよう？

シーン②

移動が不便!

[どんな人も、便利にすばやく移動]

地下鉄は、駅の中にエレベーターや点字タイルなどもあって、お年寄りやからだの不自由な方などが出かけたいときにも、便利で安心して移動できる手段です。



お互い
大変ね

ガンバッテ!



おじいちゃん、
おばあちゃんが
こまってしまうよ

そのとおり
だね



みんなでちゃんと
考えなくてはいけないよね



地下鉄がなくなったら
地上は自動車
いっぱいになるかも



大丈夫かな

大丈夫
じゃないよ

[未来の環境も考えた乗り物]

地球温暖化の原因であるCO₂。地下鉄はCO₂排出量を少なく抑え、環境に影響をおよぼす排気ガスを出しません。未来のことも考えた、とってもエコな交通機関です。

※排気ガスには二酸化炭素(CO₂)や有害物質を含む、一酸化炭素(CO)、炭化水素(HC)、窒素酸化物(NOx)、あるいは粒子状物質(PM)などがあり、エンジンで燃焼したり、さまざまな化学反応を起こしたりしたことで生ずる気体で、大気中に放出されるものです。

環境が心配!

エネルギー問題が気になる!

シーン⑤



【大人数の乗車で効率よく】

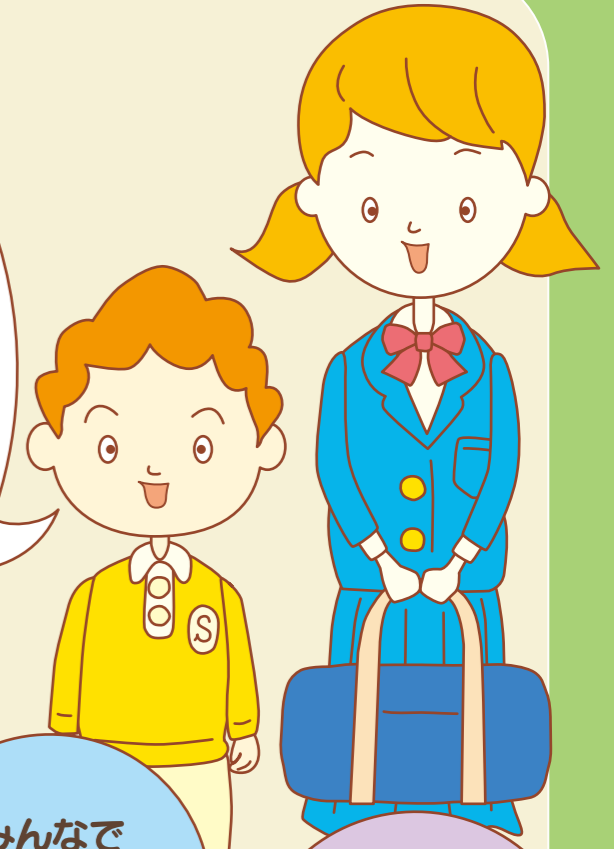
どの交通手段でも重要なのが、動力となるエネルギー。自動車に比べて地下鉄はいちどに多くの人数を乗せることができるので、エネルギーの無駄が少ない乗り物です。

地下鉄は一度に約750人も運べるんだって!

これはとっても大事な問題だね



地下鉄がなくなると大変なことがよくわかったよ!
本当にみんなで大切にしていかななくてはならないんだね



こんなに環境にやさしくエネルギーの無駄が少ないなんて知らなかった

雪に強く、時間に正確、そのうえスピーディなんていいことづくめね

みんなで支えるみんなの乗り物なんだ

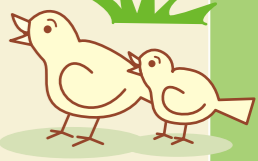
未来にバトンタッチしていかないとね



できるだけ乗ろう!使おう!と思うことが大切なんだね!

毎日の地下鉄は電気で動きますが、地下鉄を未来に向かって走らせるのは、やはり市民一人ひとりの気持ちということになるのでしょう。

みなさんもおうちで札幌市の地下鉄について話し合ってみてね。



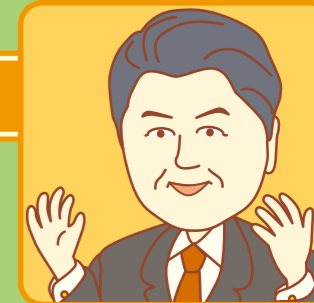
ある朝の風景



地下鉄があることを今よりちょっとだけ市民の一人ひとりが意識すると、たくさんの地下鉄の可能性が生まれてくるはずですよ。



札幌市長からのメッセージ



札幌市長 上田 文雄

～未来に向けて出発進行。 地下鉄のために私たちができること～

地下鉄は、どんなに大雪の日でもたくさんの人を時間通りに安全に運んでくれる乗り物です。皆さんが生まれるずっと前からあるので、あって当たり前と思っているかもしれませんが、どうして札幌に地下鉄が造られたか、皆さんは知っていますか？

地下鉄をつくるにはたくさんのお金がかかりました。その金額は約1兆3000億円。なんと札幌ドームが30以上も建てられるほどです。札幌市のオサイフだけではお金が足りなかったため、国のオサイフからもたくさんのお金が使われました。

これは、日本中の人が「たくさんの方が住み、たくさんの方が集まり、たくさんの方が暮らすには地下鉄が必要だ」と協力や応援をしてくれたからなのです。

こうやって、多くの人を借りてつくることのできた地下鉄なので、日本中の人が「大切にってほしい」と

思い、期待しているはずですよ。皆さんは、お友達から応援されたり、協力されたりしたら、どんな気持ちになるでしょうか？

日本中の人々からの協力や応援を受けて地下鉄をつくることのできた札幌に住む私たちは、その期待に応えようと頑張ってもいいのではないのでしょうか？

例えば、日曜日、お買い物に家族みんなで出かけるとき、車の代わりに地下鉄を使えるチャンスはあると思います。そんなとき、地下鉄は、日本中からの手助けがあっただけでつくることのできたことを思い出して欲しいのです。

こんなふうに、地下鉄に思いを寄せ、少しでも使おう！と行動に移していけば、——皆さんの「少し」をたくさんつなげて、積み重ねていけば——札幌だけではなく、日本全国の大変な宝ものでもある地下鉄を未来に引き継いでいく大きな力になっていくと考えています。

ちょっと難しいからお父さんお母さんと読んでね!

●地下鉄建設に関するエピソード●

札幌に地下鉄ができる以前、札幌市交通局の局長(当時)の大刀豊が、運輸省(現:国土交通省)から地下鉄建設の許可を取り付ける交渉を行っていました。当時の札幌の人口は80万人程度。100万人以下の都市に地下鉄を建設した前例はなかったため、計画の見直しを求められた際になんとしても札幌に地下鉄を建設したいという思いで、大刀豊は「切符さえ買ってくれば熊でも乗せます!」と答えました。このように、先人たちの熱意と、市民の強い願い、そして1966年に日本で初めての冬季オリンピックが札幌で開催されることが追い風となり、1968年に地下鉄建設の許可(南北線)がおりたのです。

●世界で初めて!●

札幌の地下鉄は、世界で初めて本格的なゴムタイヤによる中央案内軌条方式を採用、コンピューター管理方式を導入するなど新しい技術を随所に駆使し、積雪、寒冷という北国の気候に左右されない市民の「暮らしの足」として公共交通の主役を担っています。

●車の10分の1●

人や貨物の交通手段をより環境負荷の小さい手段に変更することをモーダルシフトといいます。国土交通省では身近な環境対策として、このモーダルシフトを推進しています。ガソリンで走る乗用車から地下鉄の利用に変更することで1人が1km移動する時のCO₂排出量が約10分の1に減ります。

国土交通省
CO₂排出量の比較
(単位:g-CO₂/人キロ)

地下鉄	約1/10
バス	約1/3
ガソリン乗用車	1

平成20年度 国土交通省調査

●国内で4番目に誕生●

1971年12月、全国4番目の地下鉄として札幌の地下鉄が誕生しました。当初は北24条から真駒内までの南北線12.1kmでスタート。その後市勢の発展に伴い、1976年に東西線(琴似～白石)、1978年に南北線延長部(北24条～麻生)、1982年に東西線延長部(白石～新さっぽろ)、1988年に東豊線(栄町～豊水すすきの)、1994年に東豊線延長部(豊水すすきの～福住)、さらに1999年2月に東西線延長部(琴似～宮の沢)が開業するなど、路線拡充に努め、現在は48kmとなっています。